



大淀中だより

学校教育目標 「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校

学校だより

令和7年(2025)9月30日

校長 塩見 登

学校教育力向上に向けたアンケート結果(保護者)

7月に行われた三者懇談の時期に学校評価アンケートをすぐーるにて配信させていただきました。240名の回答をいただき、前年度(回答数159名)に比べても多数の方々ご回答していただき大変ありがとうございます。ご協力いただき誠にありがとうございました。この結果につきましては、学校運営協議会・教職員と共有し、今後の学校改善につなげて参ります。生徒アンケートの結果につきましては、次号以降でお伝えいたします。*数値は「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した人数をあわせた割合になっています。*令和6年度後期より上がった(↑)*令和6年度後期より下がった(↓)

設問	R6	R7
①子どもは安心して楽しく学校に通っている	93%	86% ↓
②学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきと活動している	89%	90% ↑
③学校の様子が、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる	92%	93% ↑
④学校は、生徒の人間性や人権を尊重した接し方ができている	91%	94% ↑
⑤学校は生徒指導上の問題を見逃さず対応できている	90%	86% ↓
⑥学校は、保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応している。	96%	95% ↓
⑦学校行事の時期は適切である	90%	93% ↑
⑧学校では、楽しく、わかりやすい授業が行われている	91%	85% ↓
⑨子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う	73%	67% ↓
⑩子どものことについて、先生と気軽に相談できる	96%	88% ↓
⑪子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができている	56%	43% ↓
⑫家庭では学校の話題など、子どもとコミュニケーションが図れている	90%	86% ↓
⑬子どものよいところをほめるなどして、自信を持たせるようにしている	86%	89% ↑
⑭家庭では社会のルール、規範意識の高揚に努めている	93%	98% ↑
⑮子どもは家庭では早寝・早起きに心がけている	61%	62% ↑
⑯子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ会話している	78%	85% ↑
⑰子どもは、朝ご飯を毎日きちんと食べている	79%	87% ↑
⑱ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている	54%	68% ↑
⑲子どもは朝夕の検温など健康観察をしっかり行っている	50%	33% ↓
⑳子どもはハンカチを携行している	52%	46% ↓

□ ■ □ ■ 学校生活について ■ □ ■ □

「学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきと活動している」など、90%以上の肯定的ご意見を頂くことができた反面、「子どもは安心して楽しく学校に通っている」「学校は生徒指導上の問題を見逃さず対応できている」の項目については肯定的意見が減少しています。教育の基盤は、教職員の生徒理解にありますので、この結果を重く受け止めます。生徒一人ひとりのことをしっかり見ていきながら今後の教育活動に取り組んでいきたいと思います。「学校の様子が、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる」の項目については、多くの方々に肯定的意見をいただいております。本校の学校ホームページにつきましては日々更新しており、毎月の行事予定も確認することができます。「大淀中学校」で検索していただき、活動の様子をご覧頂きたいと思います。

□ ■ □ ■ 学習面について ■ □ ■ □

学習面については、昨年度に引き続き課題が浮き彫りになっています。「子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついていていると思う」「子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができている」の項目において低い数値を示しています。また、「学校では、楽しく、わかりやすい授業が行われている」の項目も昨年度よりに低い数値を示しています。

今後の大きな課題として、授業で学んだことを定着させるような授業改善をしていくことが大切であると考えます。今年度も、昨年度に引き続き京都大学に参画していただき「パフォーマンス課題」という授業研究を行っています。これは、様々な知識やスキルを統合して使いこなすことを求めるような複雑な課題です。知識をただ暗記するのではなく、知識を活用することを目的としており、このことで生徒の学習に対する意識を向上させたいと考えています。

□ ■ □ ■ 家庭生活について ■ □ ■ □

「子どものよいところをほめるなどして、自信を持たせるようにしている」「家庭では社会のルール、規範意識の高揚に努めている」の項目で数値が向上しています。私は、子育てに大切なことは親の安心だと考えています。しかし、現代社会は、情報量の膨大さから子育てに不安を抱える家庭が多いという結果があります。その中にも関わらず、肯定的意見が増えているということは、各家庭で親が努力している証だと思い、大変頭が下がる思いです。今年度も PTA 主催の家庭教育学級が開催されます。ここでは、親の自分理解をテーマに話し合うものです。開催時期が決まりましたら、ご案内を差し上げますのでぜひご参加下さい。

たくましい背中(2年生 教員より)

職員室の校長デスクに京都府の教職員向けの冊子が置かれていました。いつもサラッと目を通して古紙の箱に入れるのですが、今回は最終ページに釘付けになりました。なんと、“大淀中学校”からの記事が載っていたのです。2年生の先生からの投稿でした。なんと素敵なお文なんでしょう。疲れていた夕方の職員室に温かい雰囲気が流れていきました。皆さんにも紹介させていただきます。

“教室に植木鉢と小さなプランターを置いている。始業式の日の学級開きで「みんなでこの花と共に成長しよう」と言って種を植えた。今年からチーム担任制で、一週間経ったらクラスを離れるので「この花をよろしく！」と言って金曜日を終える。次の週、休み時間の廊下を歩いていると二人の男子生徒がせっせと水をやってくれているのを見つけた。シンプルにすごく嬉しかった。月日は流れ、毎日暑い日が続くようになり、ついに花が枯れてしまった。何度も蕾を出した花だったが、花も生き物なので終わりが来るのは仕方ない。そう思っているとまた二人の男子が水をやっている場面に遭遇した。「もう枯れちゃったやろ？」と声をかけると「毎日やつたらまた咲くかもしれんやん」と背中を向けながら水をやり続けてくれた。この子たちがいるクラスは、何が起きても大丈夫だと安心したし、子どもながらすごくたくましい背中に見えた。”

～淀から世界へ(校長の独り言)～

ちょっと数えてみました。34カ国。何の数字だと思いますか？そうです！私が今までに訪れた国の数です。一般的には、多い方だと思います。しかし、世界197カ国。未知の国がありすぎてどうしよう悩む今日この頃です。“先生、英語が出来るからいいですね”こんな言葉をかけられることがよくあります。しかし、中学校・高校と全く英語が出来ませんでした。私が英語を本気で勉強し始めたのは29歳のジンバブエから帰国して路頭に迷っているときでした（このお話は、またどこかで特集できれば幸いです）。大学では、英語とは無縁の世界に身を置き、会計や簿記の専攻を一応はしていましたが、あまり勉学には興味を示さず、1年の3分の1を信州で山ごもりしスキーの修行をしていました。関西・関東から集まるスキーヤーと合宿をし技を競い合うことに夢中な学生生活を送っていました。そんな合宿所に夏はログハウスを作る大工、冬はモーグラー（コブを専門に滑る）という一風変わった長野県出身の青年に出会います。彼は、ワーキングホリデーという制度を使ってカナダに1年間留学していましたことを楽しそうに私に毎日のように語ってくれました。“塩見ちゃんも絶対海外行った方がいいよ！”夏の北海道自転車旅行で出会った秋田の中学生に刺激を受けて次は何に挑戦しようかと悩んでいたので、“よし、留学しよう！”単純な私は、大学の夏の留学プログラムにチャレンジすることに決めました。学生課に行って申し込み、試験を受ける。全く準備もせず、全員行けるだろうぐらいの気持ちで受験。確かに50人の募集に応募者53名。不合格者はたったの3名。全く英語が出来ない3名が不合格になるです。そうです。そのうちの1人が自分だったのです。合格発表を見に行つたときに横の女子学生が“この試験落ちる人いるの？”と友だちと話していたのを今でも覚えています。恥ずかしさでその場を去り、学校が無理なら1人でどこかへ。本屋に行って ABroad という旅行雑誌を買って何か出来そうな場所を探して見つけたのが、マレー半島縦断の旅～バンコク着シンガポール発～チケットのみ。○○一周や○○縦断などに弱い私は、訳も分からずとりあえずチケットを購入。北海道に続く自分探しの旅が続いていきます。

※いつもたわいもない独り言にお付き合いいただきありがとうございます。